



令和7年度林業イノベーションハブ構築事業

第2回 専門委員会 事業の実施状況（最終報告）

日時 | 令和8（2026）年2月24日（火）13:30～16:00

場所 | 日林協会館 3階 大会議室

Web会議「Webex」を併用



一般社団法人 日本森林技術協会

Japan Forest Technology Association

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 第1回専門委員会の振り返り
- マッチングイベントの実施報告
- マッチングイベントのフォローアップの進捗報告
- シンポジウムの実施報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後について

- 森ハブHPの更新（改修）
- 森ハブPF会員状況
- 森ハブPF会員アンケート結果
- 林野庁情報提供 ※参考資料3 シンポジウム資料参照

3. その他

- MVV
- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

1-1. 第1回専門委員会の振り返り（概要）①

日程

令和7（2025）年7月4日（金）14:00～16:00

会場

日本森林技術協会 3階 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

次第

- (1) 事業の実施概要
- (2) 森ハブ・プラットフォームの実施・運営
 - ・ 森ハブHPの運営報告（HP改修）
 - ・ PF会員の登録状況
 - ・ PFイベントの開催（案）
 - ・ PF会員のワーキング・グループの設置・運営支援
- (3) 森ハブ・プラットフォームの今後の方針（案）
- (4) その他
 - ・ デジタル分科会・安全対策検討会の実施概要



写真 第1回専門委員会 開催風景

参加者

- 【委員等】 大金 重秀（栃木県 環境森林部 参事）
坂井 貴行（名古屋市立大学 経済学研究科 教授）
柴田 君也（株式会社柴田産業 代表取締役）
立花 敏（座長、京都大学 大学院農学研究科 森林科学専攻 森林・人間関係学分野 教授）
中澤 昌彦（森林総合研究所 林業研究部門 林業工学研究領域 収穫システム研究室 室長）
- 【事務局】 林野庁、日本森林技術協会

1-1. 第1回専門委員会の振り返り（概要）②

森ハブ・プラットフォームの実施・運営

- メルマガ配信における**営利情報の取り扱い**に関する表現整理の必要性
- 会員アンケートによる**マッチング件数を成果指標**とした調査実施の重要性
- アンケート実施時期について**施策と連動した実施**や年度始め実施の考え方
- アンケート回収向上に向けた**回答メリットの明確化**や**情報発信強化**の必要性
- マッチング促進に向けた**秘密保持の枠組み整備**と**成功事例共有**の難しさ

森ハブ・プラットフォーム イベントの企画・実施

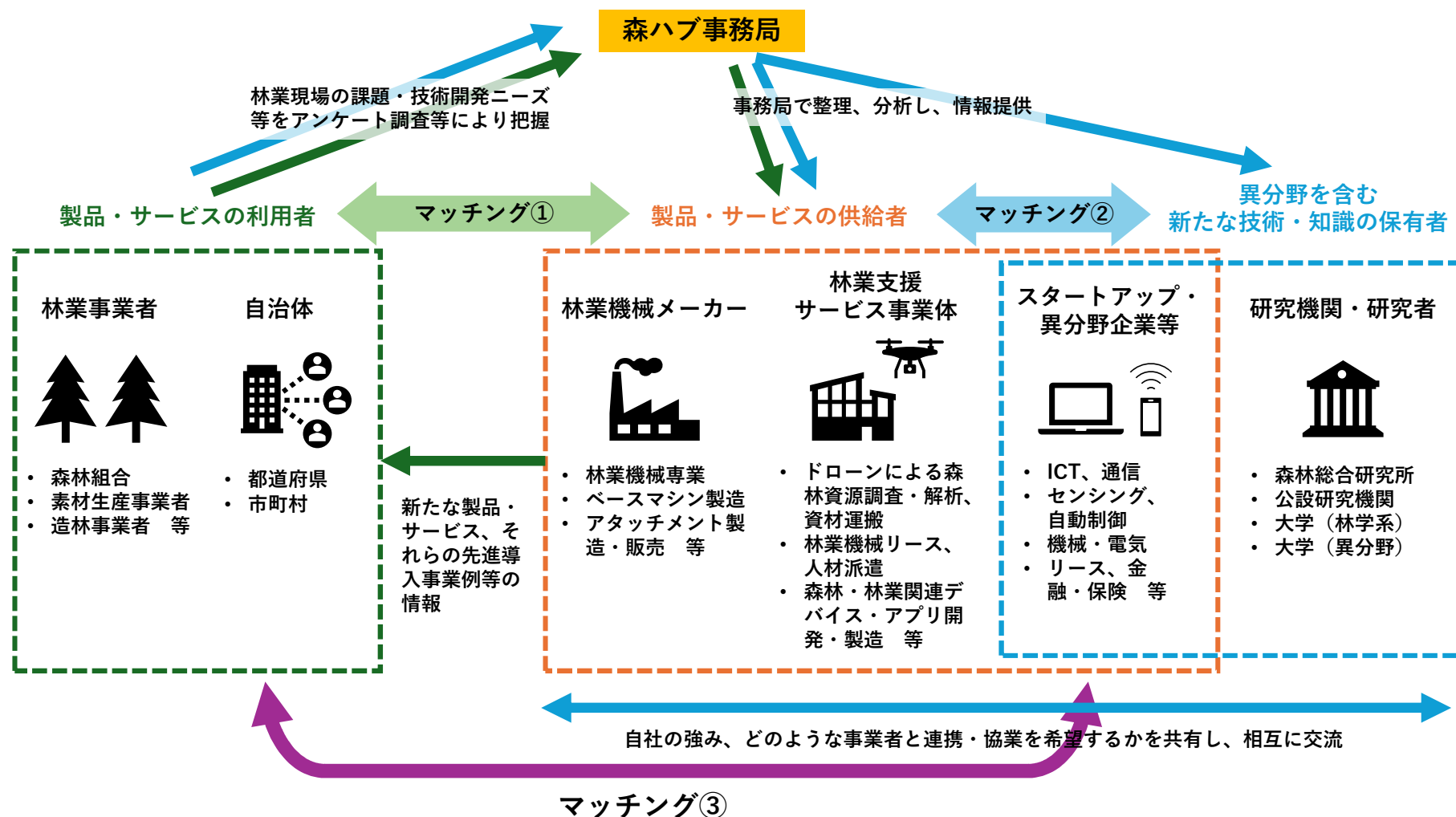
- シンポジウムの内容に関する**DX偏重への懸念**と**テーマ設定の再整理**の必要性
- 林業人材流出など**現場の足元課題**を踏まえた**イベント設計**の重要性
- **次世代経営者等**を対象とした**事前ヒアリング**による**課題把握**の必要性
- 課題把握結果を踏まえた**マッチング**や**情報提供内容の整理**

森ハブ・プラットフォームの方針整理（MVV等）

- 「共創の場づくり」を軸とした、**場・人・事（こと）づくりの視点**の重要性
- **人が集い、新たな結合が生まれる場**としての森ハブの役割を示す**メッセージ強化**の必要性
- DXのみで解決しない林業課題を踏まえた、**環境配慮・再造林を含む林業の本質的価値**の整理
- **トップランナー育成**と**業界全体の底上げ**に関する、**支援対象・アプローチ**の考え方整理
- **限られたリソース**を前提とした、**優先順位付け**と**森ハブの方向性**の明確化
- 林業事業者の**処遇・就業意欲**を踏まえた**構造的変革**の必要性

1-2. マッチングイベントの実施報告①

- 森ハブ・プラットフォームで目指すマッチングのイメージを念頭に置き、**林業×異分野SU、企業等の会員がつながることができる場を形成し、マッチングを推進**する。
- **年度内に2回イベントを開催**する。
 - **【マッチング③】 深掘りイベント：次世代林業経営者向けマッチング・ワークショップ 10月7日**
 - **【マッチング①・②・③】 一般参加型イベント：シンポジウム 2月3日**



1-2. マッチングイベントの実施報告②

題目 林業の未来を考える次世代経営者ワークショップ

森林・林業・環境機械展示実演会

日程 令和7（2025）年10月7日（火）

10月5日(日)、6日(月) 宮城県石巻市

会場 宮城県仙台市 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口5階

目的 林業事業体の取り組み事例を他社と共有しながら課題解決に向けて意見交換するとともに、課題を起点に新たなサービスの芽を創出する。

テーマ 【共通（必須）】

①**現場作業（伐倒作業、夏場の造林作業など）の安全性を高めるための取組**（新たな技術の活用、既存技術の活用方法の工夫など）

【選択】

②**獣害対策の省力化、低コスト化のための取組**（獣害対策ネットや単木保護等の従来の手法に替わる取組など）

③**自社に新技術を導入するための人材確保・育成 / 外部サービス利用の取組**（新技術の例：新たな林業機械や、新たな作業システムの導入、レーザ測量を活用した山林調査、ドローンによる苗木運搬等）

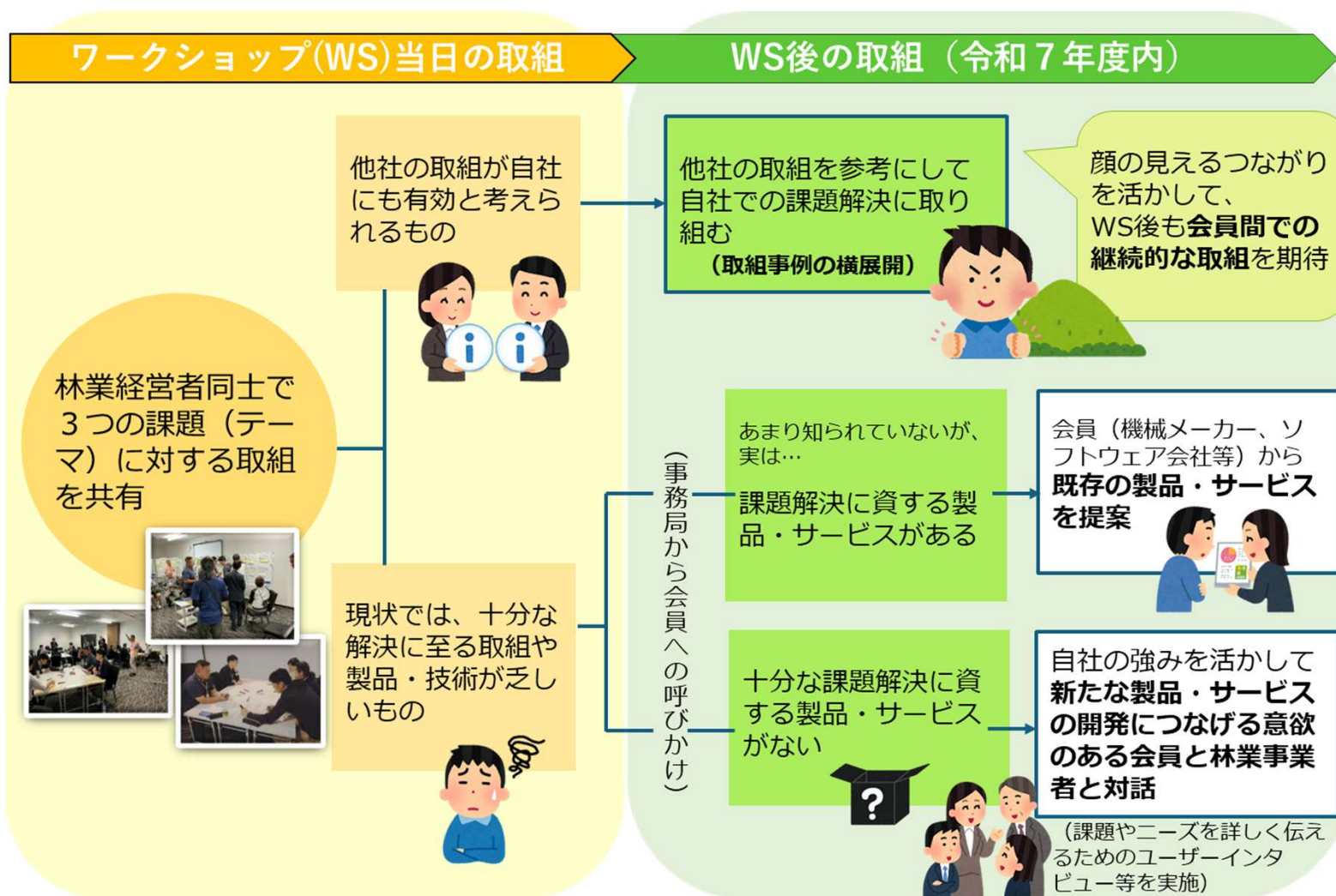
対象者

- ・ 林業事業体の経営に携わっている、又は、今後携わることが見込まれる方。
- ・ 上記のテーマに関する自社の課題を解決したい方。
- ・ 開催前後の自主活動にご協力いただける方。

参加者 林業事業体 15名

1-2. マッチングイベントの実施報告③

- 参加者の事前ワーク：2テーマを選び、自社での取り組み状況等を紹介する資料を作成する。イベント当日に自己紹介とともに発表する。
- 当日：対話型ワークショップの手法を用い、林業分野における課題を抽出し、整理した。
- 終了後：課題を森ハブ会員に共有し、企業から課題解決に向けた提案がなされた。
- 現在、WS参加者と提案企業とのWebミーティングを開催中。



1-2. マッチングイベントの実施報告④ (当日の様子)

WS参加者より、自己紹介、
自社での取り組み事例状況の発表



対話型ワークショップ



話し合い結果の発表



1-4. シンポジウムの実施報告①

題目 令和7年度 森ハブシンポジウム ～地域ぐるみで実現する林業の未来～

日程 令和8（2026）年2月3日（火）13:00～17:15

会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター8階大ホール

参加者 □ 234名（関係者含む）

開催形態 □ 対面開催（スクール形式）

- 目的**
- ワークショップに参加した3事業者＋ファシリテータを交え、「次世代経営者ワークショップへの参加と今後の期待」をテーマに、トークセッションで意見交換を行う。
 - 森林調査から木材生産・流通に至る林業活動に、デジタル技術をフル活用する「デジタル林業」の実践に取り組む4地域からの報告を行い、その後ファシリテータを交え、トークセッションで深掘りする。

概要

- 第1部**
- 森ハブのこれまでの取組と今後の展望（林野庁）
 - トークセッション（登壇者・ファシリテータ：計4名）
- 第2部**
- デジタル技術を活用した林業地域拠点の作り方（林野庁）
 - デジタル林業先進地域からの報告
 - トークセッション（登壇者・ファシリテータ：計6名）
- 第3部**
- 地域で活用されるシステム・ソフト等の紹介

2026年 2月3日(火) 受付 12:00～(企業のご案内あり) 開演 13:00～17:15

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 8階 大ホール
東京都 新宿区市ヶ谷八幡町緑地 (市ヶ谷駅徒歩5分)

200名 参加費無料

登録の氏名または二次元コードから事前に申し込みください
<https://forms.office.com/8f613b1839>

プログラム

第1部 13:00～13:55

- 開会挨拶 和生 純尚 研究開発部長 (林野庁)
- 森ハブのこれまでの取組と今後の展望 八木 崇 長 代 (林野庁林業推進課)
- ニューセッション：次世代経営者ワークショップの参加と今後の期待
ファシリテータ 中澤 昌雄 (森研総合研究所)

第2部 14:00～16:30

- デジタル技術を活用した林業地域拠点の作り方
小池 利雄 (林研林業推進課)
- 基調講演 森の流通を豊かにし地域の林業活性化について
登壇 土田 一博 (株式会社大森木材流通センター 理事)
- デジタル林業先進地域からの報告
● 新開業地域デジタル林業推進コンソーシアム
● 新開業地域デジタル林業推進コンソーシアム
ファシリテータ 藤田 誠 (森研総合研究所)

第3部 16:45～17:15

- 地域で活用されるシステム等の紹介 (ビクター展示、ヒッチプレゾ)

主催 林野庁
森ハブ事務局 (一般社団法人日本森林技術協会) E-mail: contact@morihub-info.com

1-4. シンポジウムの実施報告② (当日の様子)

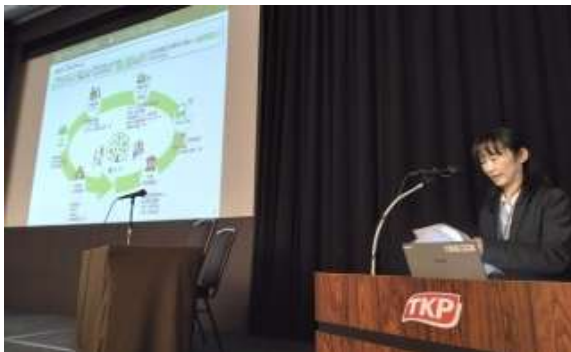
第1部



第2部



第3部



12:00~17:15 (ポスター展示)
地域で活用される
システム・ソフト等の紹介



1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 第1回専門委員会の振り返り
- マッチングイベントの実施報告
- マッチングイベントのフォローアップの進捗報告
- シンポジウムの実施報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後について

- 森ハブHPの更新（改修）
- 森ハブPF会員状況
- 森ハブPF会員アンケート結果
- 林野庁情報提供 ※参考資料3 シンポジウム資料参照

3. その他

- MVV
- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

2. 森ハブ・プラットフォームの実施・運営状況（全体像）

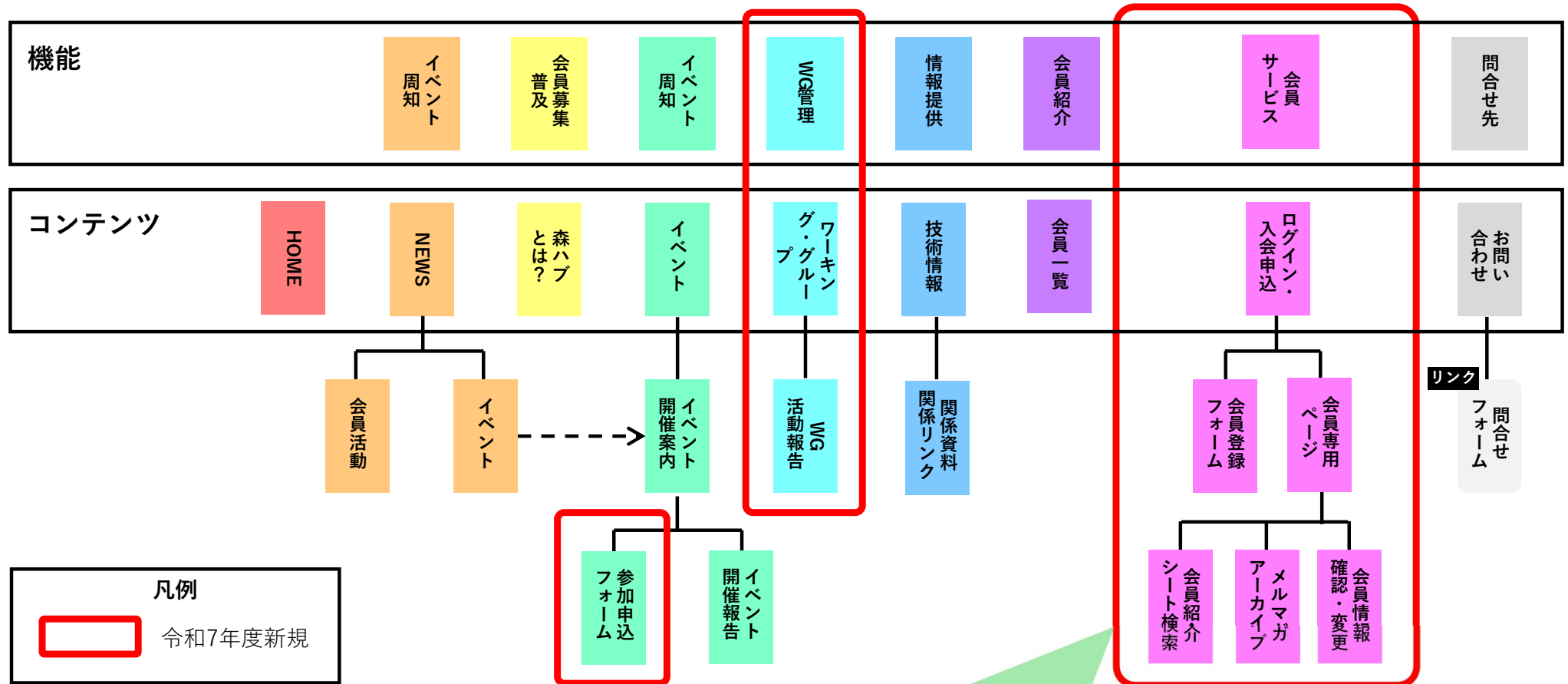
第1回再掲
朱書追記

- R5森ハブにおいて「森ハブ・プラットフォーム」を設置した。
- R7森ハブでは、設置要領・参加規約（R6.11.22 改正）に基づきながら、下表のとおり取組を実施する。

№	実施内容	概要
1	森ハブHPの更新（改修）	<ul style="list-style-type: none"> ◇ R6年度に林野庁HPから独立した森ハブHPを開設した。 ◇ R7年度は、HPの機能をさらに拡充し、多方面に森ハブやPF（支援機能）を普及周知する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ PF会員限定の専用ページを構築、令和8年2月13日（金）にリニューアル → 「OneDrive」以外の仕組み構築 ➢ 会員自身で入会申込時の内容を編集・更新が可能となった。 ◇ 「技術情報」について、情報収集し、HPを更新する（内容の充実化を図る）。
2	PF会員登録等 会員へのアンケート （ニーズ・シーズ）	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 森ハブHPのニュース欄を随時更新し、積極的にPFに係る情報（イベント、WG）を発信する。 ◇ 入会時に会員へ依頼し、任意作成・提出してもらっている「会員紹介シート」は、森ハブHPの更新完了に伴い、会員限定ページにて閲覧が可能となった。 ◇ PF会員への支援を目的に、メルマガ配信を昨年度に引き続き実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ メルマガ配信にあたっては、配信ルールの変更を行った。／配信回数は9回。 ◇ PFの取組に係る成果を整理するとともに、PF会員の現況を確認し、今後のPFの支援内容等の機能改善や拡充に向けて、令和7年12月中旬から令和8年2月中旬まで会員アンケートを実施した。
3	イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 林業と異分野の関係者等のPF会員がつながることができる場を形成し、マッチングを推進するため、R7年度内に2回イベントを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1回目 令和7年10月7日に「林業の未来を考える次世代経営者ワークショップ」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 抽出整理した課題を起点に、森ハブ会員企業から課題解決の提案を促し、マッチングを調整中 ➢ 2回目 令和8年2月3日に「森ハブシンポジウム 地域ぐるみで実現する林業の未来」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 開催後アンケートを実施
4	ワーキング・グループの 設置・運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 会員向けにワーキング・グループの設置希望の有無を調査する。 ◇ WG設置支援を希望する会員を6月中に募集し、1件の募集があった。 ◇ 令和7年7月4日の第1回専門委員会においてWGの内容を審議した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 審議結果に基づき、応募申込者に対してWG目的等の追加質問を実施したところ、「今年度の検討を見送る」との回答を得た。よって、<u>今年度のWG設置・運営支援は実施していない。</u>

2-1. 森ハブHPの更新（改修）①

- 会員登録の申込みから会員情報の管理までをHP上のシステム内で一元的に行えるようにし、事務局が手作業で対応していた業務の効率化・負担軽減を図った。
 - 令和8（2026）年2月13日（金）にHPをリニューアルした。
- 会員専用ページの構築や、イベント参加申込フォーム、ワーキング・グループ専用ページの設置により、会員が各種手続きや情報収集を行いやすくするとともに、会員活動への参加を促す仕組みとした。



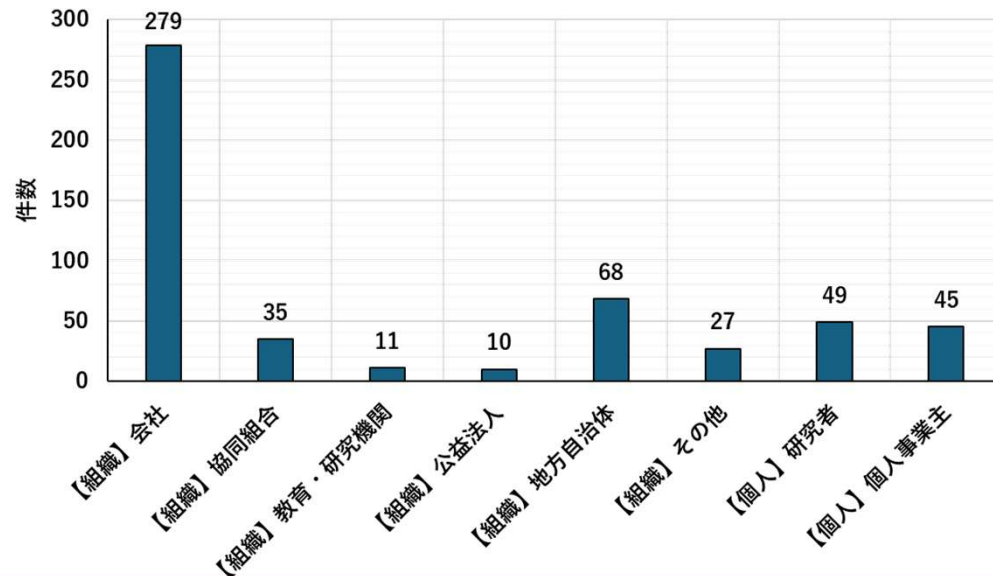
OneDriveでの情報共有は3/13（金）で廃止

2-2. 森ハブPF会員状況①（登録状況）

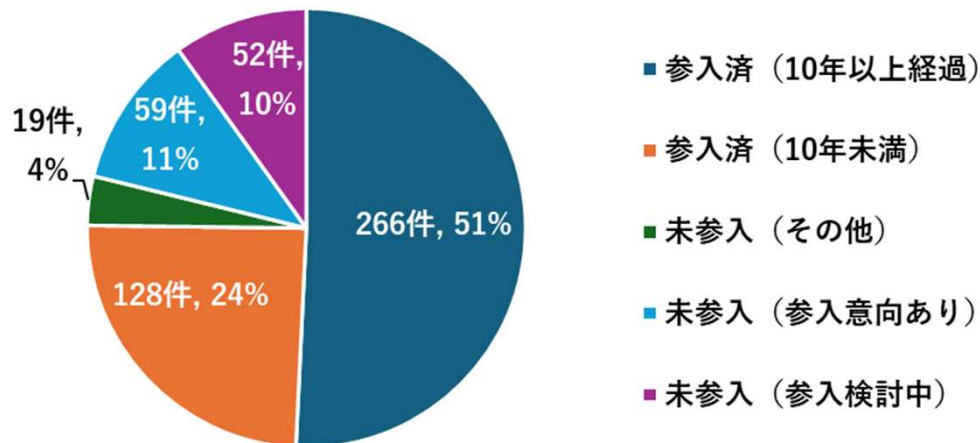
□ 「森ハブ・プラットフォーム」の会員登録等の状況は、下記のとおり（令和8年2月16日時点）。

会員数 524 者（2026年2月16日時点（2025年6月時点から+6））

会員の事業形態



会員の森林・林業分野への参入状況



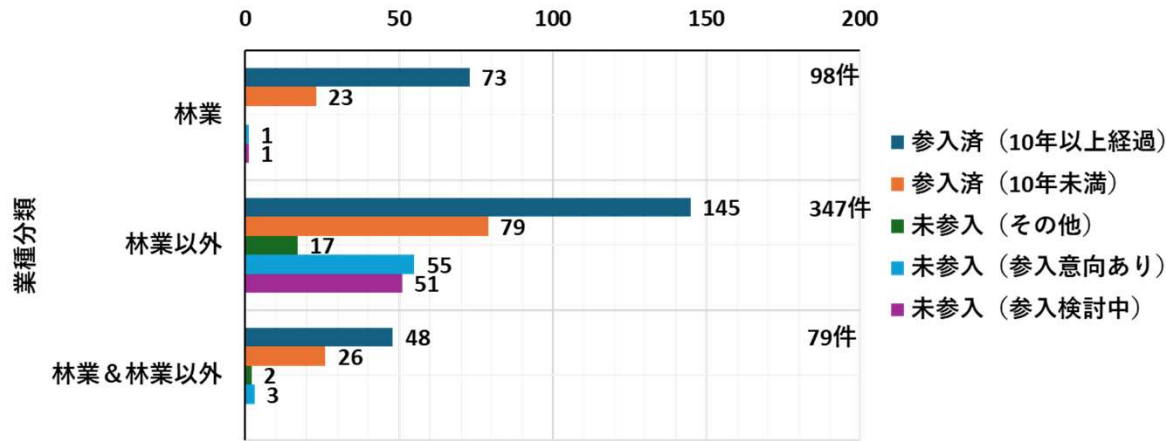
全会員の業種（複数回答）

業種	件数
林業	330
林業支援サービス業	124
農業・漁業	10
鉱業	2
建設業	45
製造業	86
電気・ガス・熱供給・水道業	10
情報通信業	40
運輸業・郵便業	3
卸売業・小売業	26
金融業・保険業	9
不動産業・物品賃貸業	10
学術研究・専門・技術サービス業	78
宿泊業・飲食サービス業	3
生活関連サービス業・娯楽業	6
教育・学習支援業	15
医療・福祉	1
その他サービス業	64
公務	82
その他	25
総件数	969

※前回報告の会員数520者は誤りで、正しくは518者である。会員規約第10条2（4）に基づき除外すべき会員を含めて集計していたためであり、2025年6月時点の正しい総数は518者。2月16日時点の増減数は、この518者を基準としている。

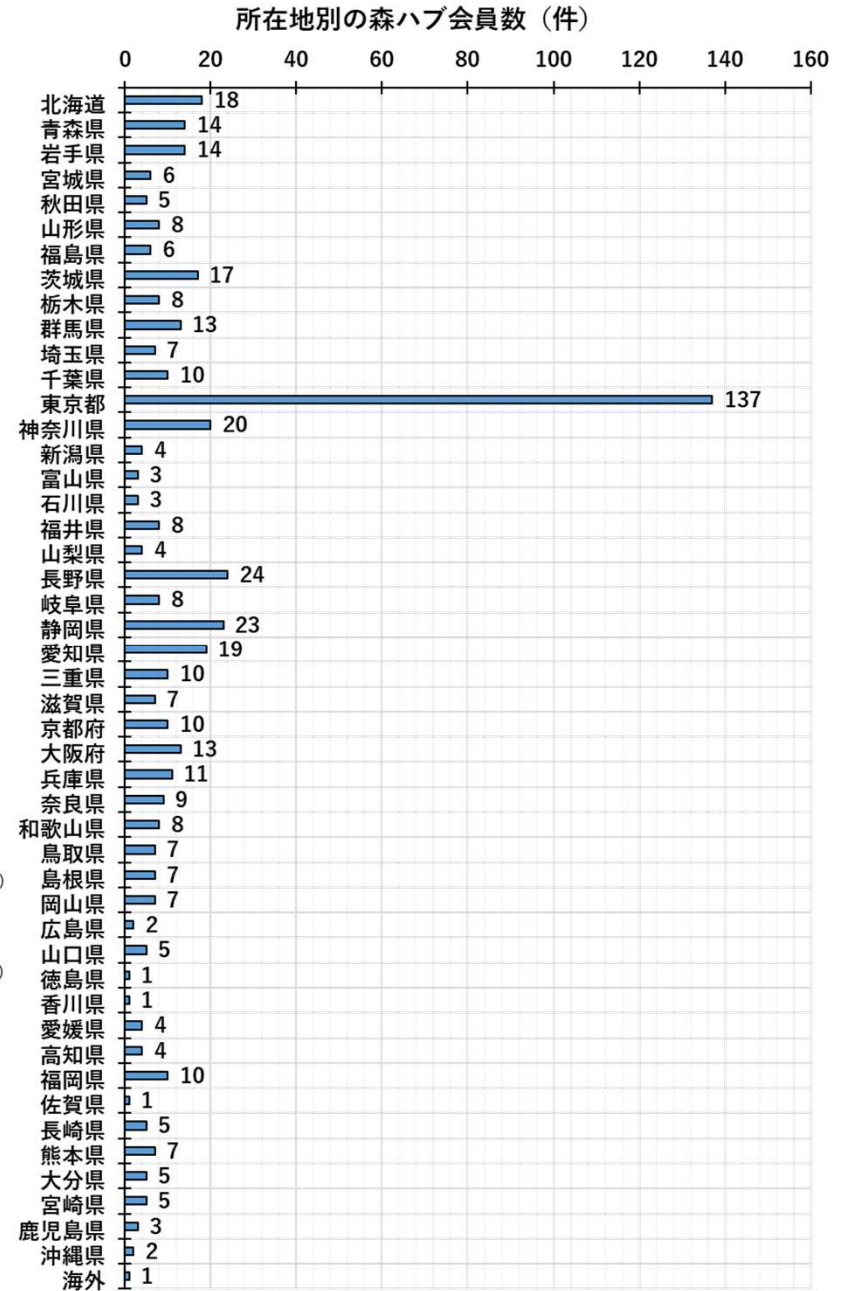
2-2. 森ハブPF会員状況② (登録状況)

会員の参入状況と業種分類

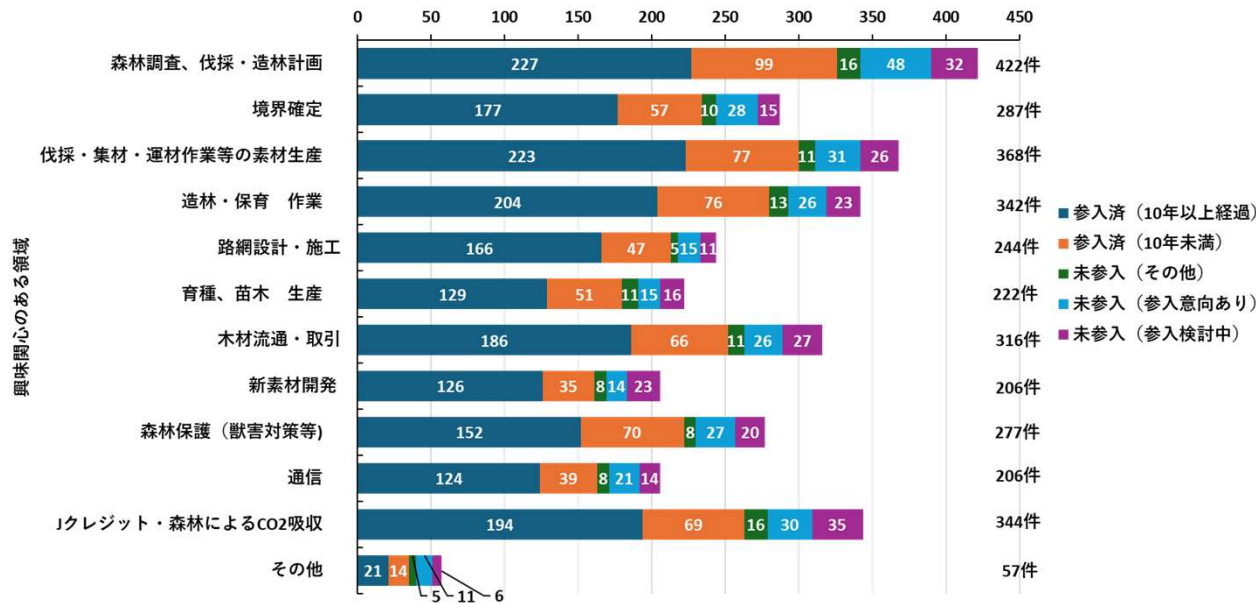


注：「林業」は業種が「林業 (XXX)」のみ。「林業以外」は業種が「林業 (XXX)」が含まれない。「林業 & 林業以外」は、業種が「林業 (XXX)」 「林業以外」が含まれる。

所在地別の会員数



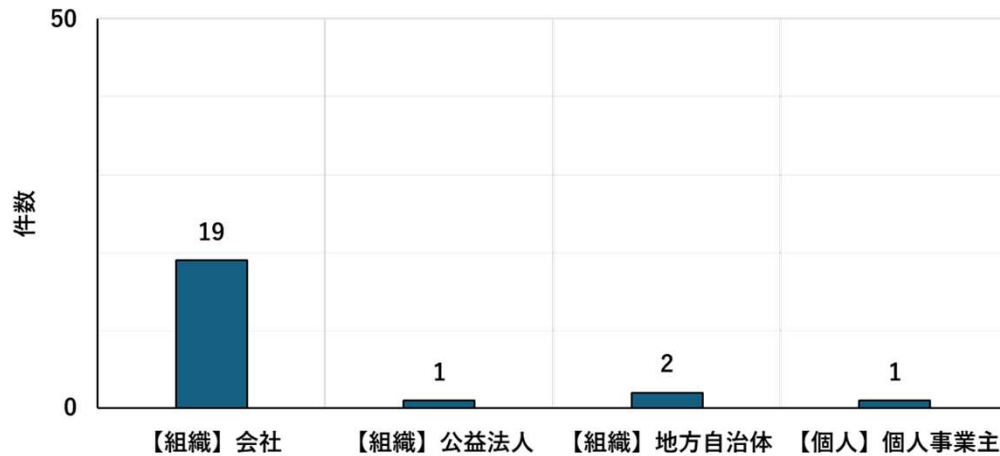
森林・林業分野への参入状況と興味関心のある領域 (複数回答)



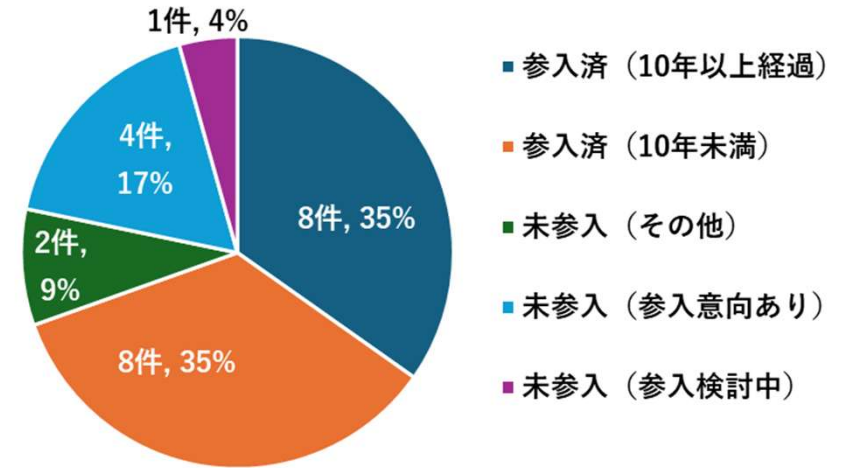
2-2. 森ハブPF会員状況③ (登録状況) ※令和7年度抽出

会員数 23者 (2025年4月1日から2026年2月16日まで)

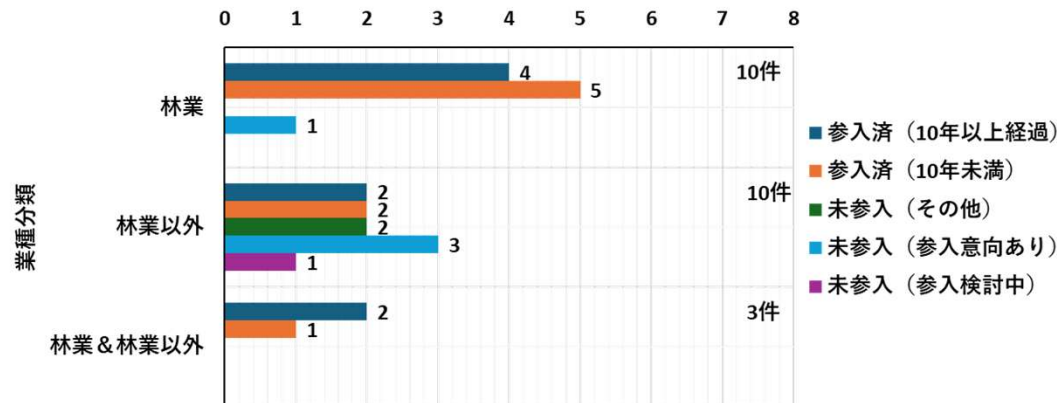
会員の事業形態 (R7のみ)



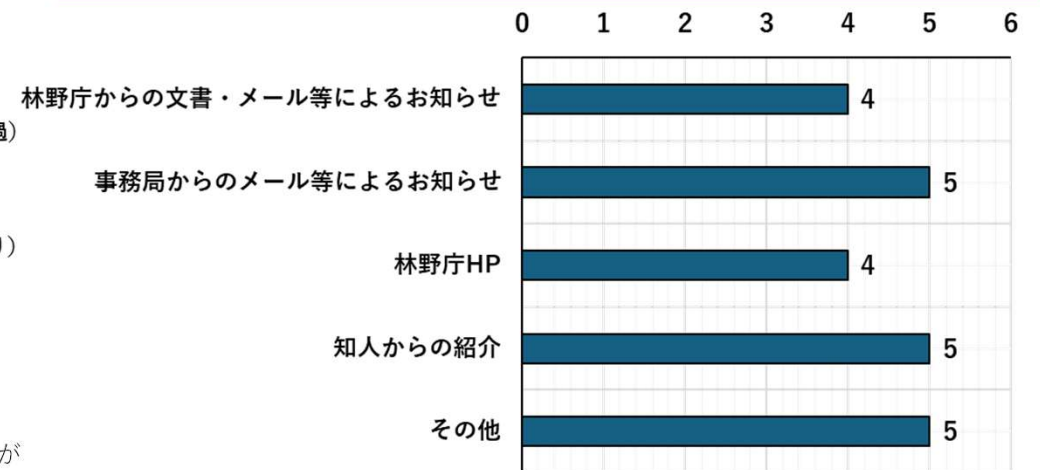
会員の森林・林業分野への参入状況 (R7のみ)



会員の参入状況と業種分類 (R7のみ)



プラットフォームを知ったきっかけ (R7のみ)



注: 「林業」は業種が「林業 (XXX)」のみ。「林業以外」は業種が「林業 (XXX)」が含まれない。「林業&林業以外」は、業種が「林業 (XXX)」 「林業以外」が含まれる。

□ 森ハブ・プラットフォームを知ったきっかけ (その他)

- 林野庁からの紹介、事務局からの紹介、森林林業白書など

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 第1回専門委員会の振り返り
- マッチングイベントの実施報告
- マッチングイベントのフォローアップの進捗報告
- シンポジウムの実施報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後について

- 森ハブHPの更新（改修）
- 森ハブPF会員状況
- 森ハブPF会員アンケート結果
- 林野庁情報提供 ※参考資料3 シンポジウム資料参照

3. その他

- MVV
- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

3-2. デジタル分科会の実施概要

日程 令和8（2026）年1月28日（水）10:00～12:45

会場 日本森林技術協会 3階 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

- 次第**
- (1) 全体の進捗
 - ・ チェックリスト、導入効果額算定の結果等
 - (2) デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告
 - ・ ①北海道地域、②静岡地域、③鳥取地域、
 - (3) デジタル林業戦略拠点づくりガイドブック（仮称）

参加者 【委員等】 中澤委員（座長）、御田委員、伊呂原委員、高橋委員、岡田アドバイザー
【デジ林3地域】 北海道地域、静岡地域、鳥取地域
【事務局】 林野庁、日本森林技術協会



写真 第3回デジタル分科会 開催風景

今年度の開催結果

回数	開催時期	主な検討内容
第1回	令和7（2025）年 6月18日（水） 対面＋Web併用	<ul style="list-style-type: none">❑ 事業の実施概要❑ デジタル林業戦略拠点づくりガイドブックのあらまし❑ 現地ワークショップの開催概要（案）
第2回	令和7（2025）年 10月22日（水） 対面＋Web併用	<ul style="list-style-type: none">❑ 今年度の3地域まとめ❑ デジタル林業実践事例調査および分析❑ 現地ワークショップの開催結果
第3回	令和8（2026）年 1月28日（水） 対面＋Web併用	<ul style="list-style-type: none">❑ デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告（北海道、静岡、鳥取）❑ デジタル林業戦略拠点づくりガイドブック（仮称）

- R8年度からの横展開に向けて、「デジタル林業戦略拠点」3地域への伴走支援体制のスキームを活用し、コーディネータ派遣による伴走支援を実施することを想定している。
 - R7年度の成果として、森ハブ事務局において地域の課題抽出・進捗確認等のコーディネーターが活用する伴走支援ツールを精度向上し、デジタル林業戦略拠点づくりガイドブックを作成する。

伴走支援ツール③
デジタル林業戦略拠点づくりガイドブック

伴走支援ツール① スマート林業・DX実践のための進捗度チェックリスト

- 地域の現状を分析し見える化することで、地域の現状と目標に対する認識を共有
- 構成員間での認識合わせや地域を支援するコーディネーターによる第三者視点での確認にも活用
- 組織体制、活動内容の側面において、地域が次に取り組む内容を具体化

伴走支援ツール② 導入効果算定（導入効果額算定表）

- デジタル技術活用による費用と効果を整理し、採算のとれるラインを可視化、デジタル技術導入費用の目安に活用
- デジタル技術の導入による効果の影響範囲を特定し、各論の合意形成に活用
- 実証結果に基づく導入効果の算出により地域の現状把握や導入後の効果検証が可能

コラム 導入効果算定（サプライチェーン指標）

- 丸太の在庫量を把握し、サプライチェーンの改善（最適化）に向けたPDCAに活用
- このような指標は、日報や配車手配アプリ、SCMシステム等のデジタル技術の導入により低コストで把握することが可能
- 指標を活用したサプライチェーンの現状把握や改善への取組が可能

成果

- 地域づくりへの道すじ（合意形成や技術導入・普及の行程など）
- 各種伴走支援ツールの使い方
- 先行事例に学ぶ成功へのヒント

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 第1回専門委員会の振り返り
- マッチングイベントの実施報告
- マッチングイベントのフォローアップの進捗報告
- シンポジウムの実施報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後について

- 森ハブHPの更新（改修）
- 森ハブPF会員状況
- 森ハブPF会員アンケート結果
- 林野庁情報提供 ※参考資料3 シンポジウム資料参照

3. その他

- MVV
- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

3-3. 安全対策検討会の実施概要①

開催回	開催時期	議事内容等
第1回	R7年 8月22日	<ul style="list-style-type: none">本検討会の概要・ガイドライン（案）の検討林業機械の自動運転レベルの検討機械メーカーヒアリング✓ 自動運転機能を備えた林業機械等の実用化状況や付加されている安全機能等
第2回	R7年 12月4日	<ul style="list-style-type: none">「機械の無人運転における安全確保等に関する専門家検討会（厚労省）」の開催状況についてガイドラインの対象とする自動運転林業機械用語の検討自動運転林業機械における要求事項の検討
追加 ヒアリング	R8年 1月中	<ul style="list-style-type: none">機械メーカー（検討対象の機械メーカー3社）を対象としてWEBでのヒアリングを実施✓ 林業機械の自動走行における監視方法✓ 林業機械の自動走行における安全防護方策の規定レベル
第3回	R8年 2月17日	<ul style="list-style-type: none">本年度検討の位置づけとガイドライン検討経緯ガイドライン（骨子）の検討今後のスケジュール

3-3. 安全対策検討会の実施概要②

■ 検討会の構成員

構成区分	人数	構成員・所属等
委員	学識 経験者	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 林業工学研究領域 研究専門員 陣川雅樹
		国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 林業工学研究領域 収穫システム研究室 室長 中澤昌彦
		森林利用学会 副会長 岩岡正博
		独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 部長 斎藤剛
	関係 団体	一般社団法人林業機械化協会 専務理事 石井晴雄
		全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会 書記次長 天田寿
		全国素材生産業協同組合連合会 副会長 佐藤総栄
	林業 機械 メーカー	全国森林組合連合会 担い手雇用対策部長 淡田和宏
		イワフジ工業株式会社 開発部電気課 課長 舞草秀信
		株式会社前田製作所 産業機械本部技術部設計課 副課長 中園豪気
		株式会社諸岡 営業本部営業統括部 担当部長 中島真二
		魚谷鉄工株式会社 技術ブロック 取締役 飯澤宇雄
		株式会社筑水キャニコム 取締役専務執行役員 中村公德
林業 事業体	松本システムエンジニアリング株式会社 代表取締役社長 松本良三	
1名	株式会社堀江林業 取締役専務 堀江慶佑	

※オブザーバ 林業・木材製造業労働災害防止協会 教育支援課長代理 秋岡陽一郎
厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課建設安全対策室 技術審議官 東好宣

【参考】ガイドライン検討経緯

項目	内容
検討の位置付け	<ul style="list-style-type: none">□ 近年、林業機械において自動運転機能の開発・導入検討が進展□ これを踏まえ、本年度から「林業機械の自動運転に関する安全性確保ガイドライン」作成に向けた検討を実施□ 本年度の目標は、<u>自動運転に関する安全性確保ガイドラインの骨子</u>の整理
検討方針	<ul style="list-style-type: none">□ 「林業機械の遠隔操作に関する安全性確保ガイドライン Ver.1.0」を踏まえ、使用者が作業地内において<u>自動運転により走行を行う自動運転林業機械（フォワーダ、伐倒機械、下刈機械）に適用</u>する□ 当該機械の設計、製造、輸入、販売、設置、管理、使用及び修理の各段階を対象とする□ <u>研究開発段階のものは適用範囲に含まない</u>こととする□ 適用範囲とする自動運転林業機械は実用化前の開発段階にあるため、ガイドラインでは近い将来の実用化を見据え、<u>共通事項となる安全対策の方向性を示す</u>こととし、将来的な作業動作の自動化や自律運転へと発展させる基盤の構築を目指す
ガイドラインの方向性	<ul style="list-style-type: none">□ 「危害」は「<u>自動走行中の自動運転林業機械と人の接触</u>による受傷」と想定□ リスクアセスメントにより自動運転林業機械による新たなリスクの洗い出し等が必要であり、そのためには、<u>機械別に使用上の条件等を設定</u>が求められる□ ガイドラインへの記載内容は、現時点では、<u>人検知や自動停止機能の性能を確認するために必要なプロセス</u>となる□ 将来的には、人検知等のシステムによる監視についての試験方法等を定めるところまで検討を進めることが望ましい

【参考】ガイドライン作成状況

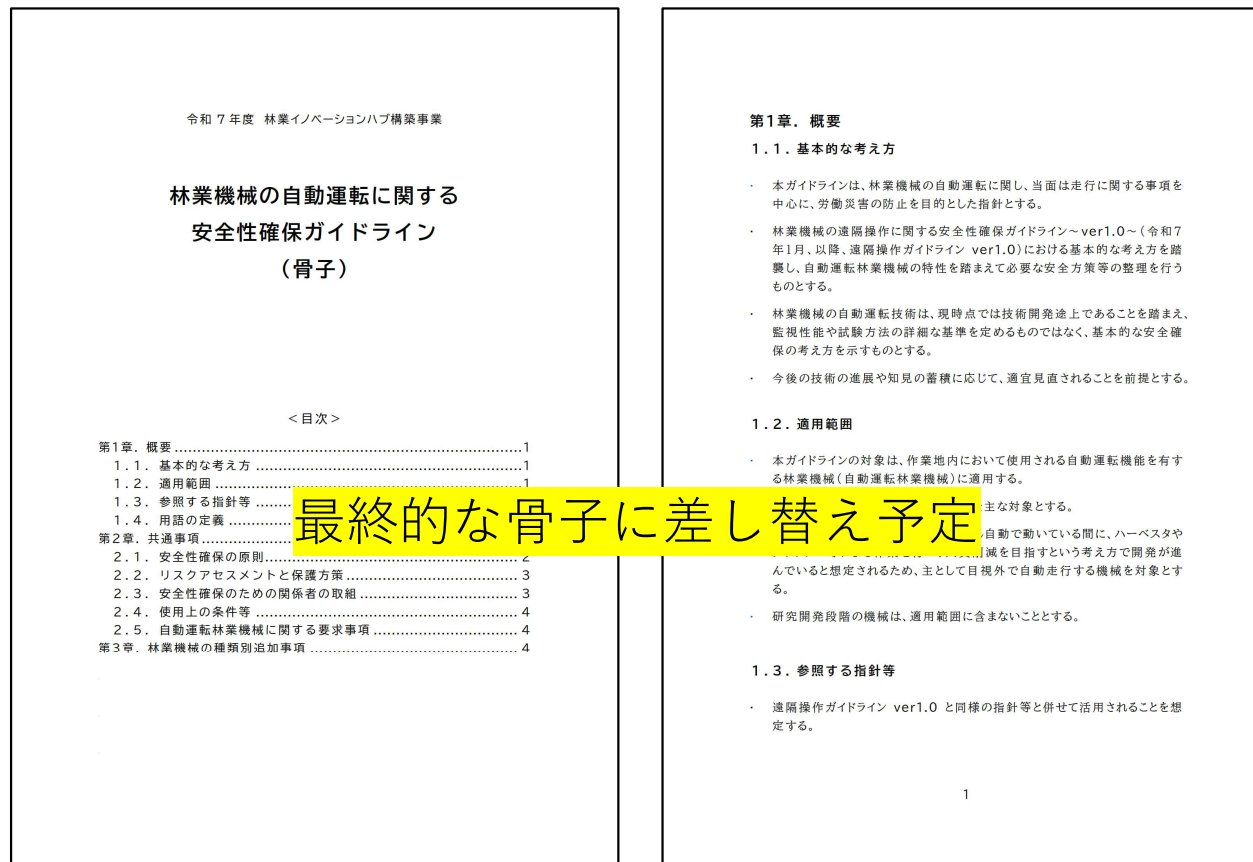
R6年度成果

「林業機械の遠隔操作に関する安全性確保ガイドライン～Ver1.0～」 (林野庁HP公開)

R7年度成果

「林業機械の自動運転に関する安全性確保ガイドライン (骨子)」

※第3回検討委員会の議論をもとに、座長一任で内容を決定予定



林業機械の自動運転に関する安全性確保ガイドライン (骨子)

今後の
スケジュール

R8年度末に自動運転の内容を追加しガイドラインを改定

【参考】全体スケジュール

事業内容		令和7（2025）年										令和8（2026）年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 1)2)	① 専門委員会				済7/4			済10/7	任意	宮城県			★2/24	
	② デジタル分科会			済6/18				済10/22			済1/28			
	③ 安全対策検討会					済8/22			済12/4			☆2/17		
(2) 1)	コーディネータ 派遣・助言	北海道	各種調整		済Web 6/3			派遣① 10/21-22					派遣② 2/19-20	
		静岡県		済Web 5/28		派遣① 7/15			派遣② 11/18			派遣③ 3/6		
		鳥取県		済Web 5/30		派遣① 7/9-11	済Web 8/29			派遣② 12/8-10		派遣③ 2/24-27		
(2) 2)	①事例調査・分析	情報整理		調査地 確定				2事例調査 (Web・現地)		情報整理				
	②伴走支援 ツールの作成	チェック リスト	●	評価									●	
		定量化 手法	手法 検討		提示	計測・算定	課題・ 対応策	計測・算定	手法 まとめ					
	③現地 ワーク ショップ の実施	鳥取県	各種調整	日程 諸準備 確定	募集 7/1-7/25 会場等諸準備	開催 8/25-26	フォローアップ							
静岡県		募集 8/1-8/29 会場等諸準備			開催 9/30-10/1	フォローアップ								
④横展開に向けた 普及（ガイドブック）				①～③を取りまとめたガイドブックの作成							完成	★		
(3) 1)	PF事務局の設置	森ハブHP改修（会員専用ページ構築）												
		会員登録・メルマガ配信等の事務運営												
(3) 2)	ニーズ・シーズ等の 把握と情報提供	情報共有シートの収集・更新、各種ニーズ・シーズの整理・提供												
								調査票 作成等	会員 アンケート	結果 報告				
(3) 3)	PF会員間のマッチ ングの推進等	地域 確定	・日程確定 ・各種調整等	参加者募集 事前ヒアリング等				★10/7 宮城県	フォローアップ				★	
(3) 4)	WGの設置・運営 支援		要望 調査	審査	審査 確定	…今年度はWGの運営支援なし								
(4)	遠隔操作・自動運転 安全対策の検討	課題 整理	方針案 決定	情報 収集	方針 決定	現況調査	課題 検討	素案 検討	骨子案 完成					

3月13日（金）納品日